

【当社参加のお知らせ】文部科学省
「国家課題対応型研究開発推進事業」
原子力システム研究開発事業（大規模チーム）

次世代シビアアクシデント 解析コードZELOSSAの開発

開発期間	令和8年度～令和12年度
申請機関	国立大学法人東京大学（研究代表者：高田孝（原子力専攻））
再委託先機関	学校法人早稲田大学 一般財団法人電力中央研究所 日立GEベルノバニュークリアエナジー株式会社 アドバンスソフト株式会社
外部委員	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 東京電力ホールディングス株式会社 株式会社東芝

福島第一原子力発電所事故以降、シビアアクシデント（以下SA）時の安全評価は重要な課題です。現行軽水炉を含むSA評価では、海外製コードへの依存を低減し、国内で保守・改良できる解析基盤が必要です。特に次世代軽水炉では、3次元挙動の評価が一層重要になります。

ZELOSSAは、SAの事象進展を一貫して評価する国産解析コードです。ZELOSSA1では、既存のSA解析コードとの互換性を考慮し、高速化及び計算安定性の向上を図ります。ZELOSSA2では、3次元熱流動解析機能を組み込みます。

開発したコードは参加機関に無償で配布し、ユーザー会を中心に利用技術の向上と継続的な保守・改良を進めます。また、設計、実装及び妥当性確認を通じて、原子力安全解析コードの開発・適用人材を育成します。

**アドバンスソフト株式会社は本プロジェクトに参加し、
プログラム作成を担当します。**